

※独仏伊などの反応を加えました。

イギリスの製薬大手

アストラゼネカの

新型コロナウイルスワクチンを

接種した後に

血栓ができた事例が

報告された問題で、

EU＝ヨーロッパ連合の

薬事当局である

EMA＝ヨーロッパ医薬品庁は

18日、

接種と血栓との

因果関係は確認されず、

「接種のメリットが

副反応のリスクを上回る」と

結論づけました。

EMAのエマ・クック事務局長は

記者会見で、

「ワクチンは安全で有効だ。

接種によって血栓になる危険性は

増加しないとの結論が出た」と

述べました。

オーストリアなどで

ワクチンを接種した後に

血栓ができて死亡した例があり、ヨーロッパのおよそ20か国は

今週、アストラゼネカの

ワクチンの接種を一時停止したり延期したりしていましたが、

今回のEMAの見解を受け、

ドイツやフランス、イタリアなどがアストラゼネカの

接種を再開する方針を

示しました。

アストラゼネカのワクチンは、

16日時点でEU域内や

イギリスのおよそ2000万人が接種を受けています。

ただ、EMAは、

極めてまれなケースで

血栓と接種との間に

関連がある可能性が

捨てきれないとして、

今後も分析を続ける

考えも示しました。

\*\*\*止め\*\*\*